

# 第 1 部

## 序 論

---

# 第1章 総合計画の概要

## 1 「総合計画」とは

「総合計画」とは、地方自治体が将来目指す姿を示すとともに、それを実現するためにどのような取組を行うかをまとめた計画です。

多くの地方自治体が、目指す将来像やまちづくりの方向性等を示した「基本構想」と、それに基づいて主な施策等を示した「基本計画」（本町では「実践計画」と呼んでいます。）で構成しています。

地方自治体では、計画的に仕事を進めるため、分野ごとにたくさんの計画を策定していますが、総合計画は、こうした計画のうち、一番上に位置する「最上位計画」であり、最も重要な計画です。

## 2 計画策定の目的

本町では、平成26（2014）年度に「第6次宇美町総合計画」を策定し、『ともに創る 自然とにぎわいが融合したまち・宇美』という将来像の実現に向けた様々な取組を積極的に進めてきました。

しかし、この計画の策定後、およそ8年を経過した今日、少子高齢化の急速な進行や全国各地における大規模災害の発生、町民が抱える課題の多様化、地域の活性化等、取り組まなければならない課題が山積しています。厳しい社会情勢を乗り越え、すべての町民が幸せを実感できる持続可能なまちとして発展していくため、「第7次宇美町総合計画」を策定します。

また、この計画は、町政運営全般の最も基本的な計画として、本町に関わるすべての人と将来像を共有し、共に未来の宇美町をつくっていくための羅針盤として周知、活用していくものです。

### 3 計画の構成と期間

第7次宇美町総合計画は、「基本構想」、「実践計画」により構成されます。具体的な事業については、毎年度「事業計画」を策定し、総合計画の進行管理を行います。

#### 基本構想

本町の特性や町民ニーズ、社会動向、そして現状と課題を踏まえ、本町が目指す将来像と、その実現に向けた基本目標等を示したものです。

計画の期間は、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間とします。

#### 実践計画

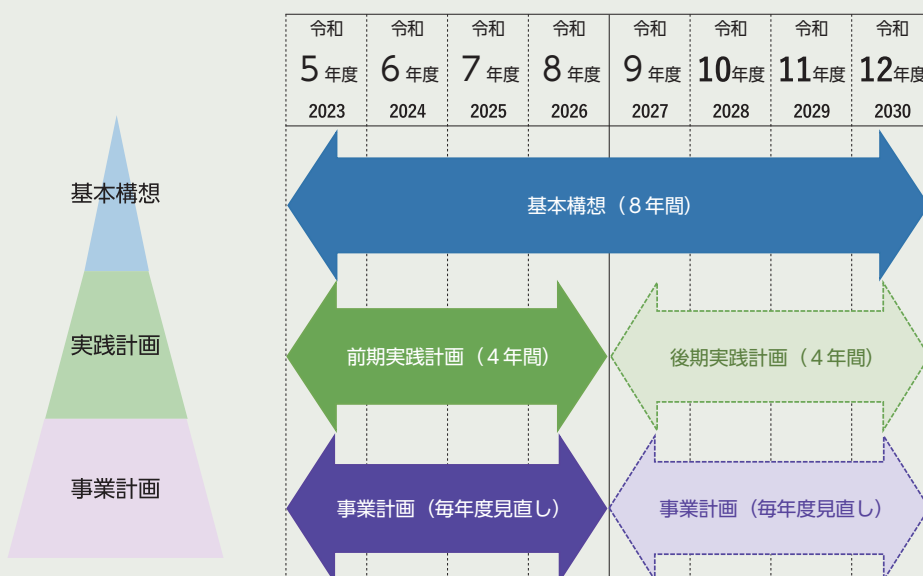
基本構想に基づき、各分野において取り組む主要な施策等を示したもので、社会動向の変化等に柔軟に対応できるよう、前期・後期にわけて策定します。

計画の期間は、前期実践計画が令和5（2023）年度から令和8（2026）年度までの4年間、後期実践計画が令和9（2027）年度から令和12（2030）年度までの4年間とします。

#### 事業計画

実践計画に基づき、具体的に実施する事業の内容や財源、実施年度等を示したもので、計画の期間は4年間とします。

なお、事業計画は、本計画書とは別に、毎年度見直しを行いながら策定します。



## 第2章 計画策定の背景

### 少子高齢化・人口減少の一層の進行と地方創生の推進



わが国では、少子化が一段と進行するとともに、高齢化率が世界一の水準で推移し、人口減少が深刻化しています。

宇美町においても、急速な高齢化への対応と出生率の向上、人口減少の抑制が課題であり、子育て支援や移住・定住の促進等の地方創生の推進により人口減少を抑制することが求められています。

### 地域コミュニティの重要性の高まり



人口減少や家族形態の変化等を背景に地域における人と人のつながりが希薄化しています。地域における生活課題が多様化する中、宇美町においても地域でお互いに支え合い、地域の課題を自ら解決していくことやまちづくりへの町民の主体的な参加の重要性が高まっています。

# 宇美町を 社会

### 安全・安心に対する関心の高まり



地震や大雨等による大規模な自然災害、新型コロナウイルス感染症の流行、特殊詐欺等による被害の増加、痛ましい交通事故の発生等を背景に、人々の安全・安心に対する関心が高まっています。

宇美町においても、地域や関係機関と連携して、防災や防犯、交通安全等に対する安全な環境を整備し、安心して暮らせるまちづくりが求められています。

### 環境問題の深刻化



地球温暖化が進行し、世界的に異常気象や生態系の崩壊等を引き起こしています。世界各国は、気候変動対策のため温室効果ガスの排出量と除去量の均衡を図るための取組をすすめており、日本においても、国、地方自治体、企業そして国民一人ひとりが、脱炭素社会の実現に向けた取組を実践することが求められています。

宇美町を取り巻く社会情勢をまとめています。

第7次宇美町総合計画では、これらの社会情勢を踏まえ、これからのまちづくりを進めます。

## 地方の産業・経済の低迷



後継者不足や国内市場の縮小、新型コロナウイルス感染症の流行等により、地方の産業・経済は非常に厳しい状況にあります。

宇美町においても、地元事業者の事業継続や創業支援、地域経済の活性化が求められています。

## 情報化・デジタル化の進展



モバイル端末が普及し、SNS<sup>\*</sup>やネット通販、キャッシュレス決済<sup>\*</sup>等が生活に欠かせないものとなり、また、各分野でIoT<sup>\*</sup>、ビッグデータ<sup>\*</sup>、AI<sup>\*</sup>等が活用され、社会の情報化・デジタル化が進展しています。

宇美町においても、デジタル技術を活用した行政サービスの向上や地域社会のデジタル化が求められています。

# 取り巻く 情勢

## SDGsに基づく取組の進展



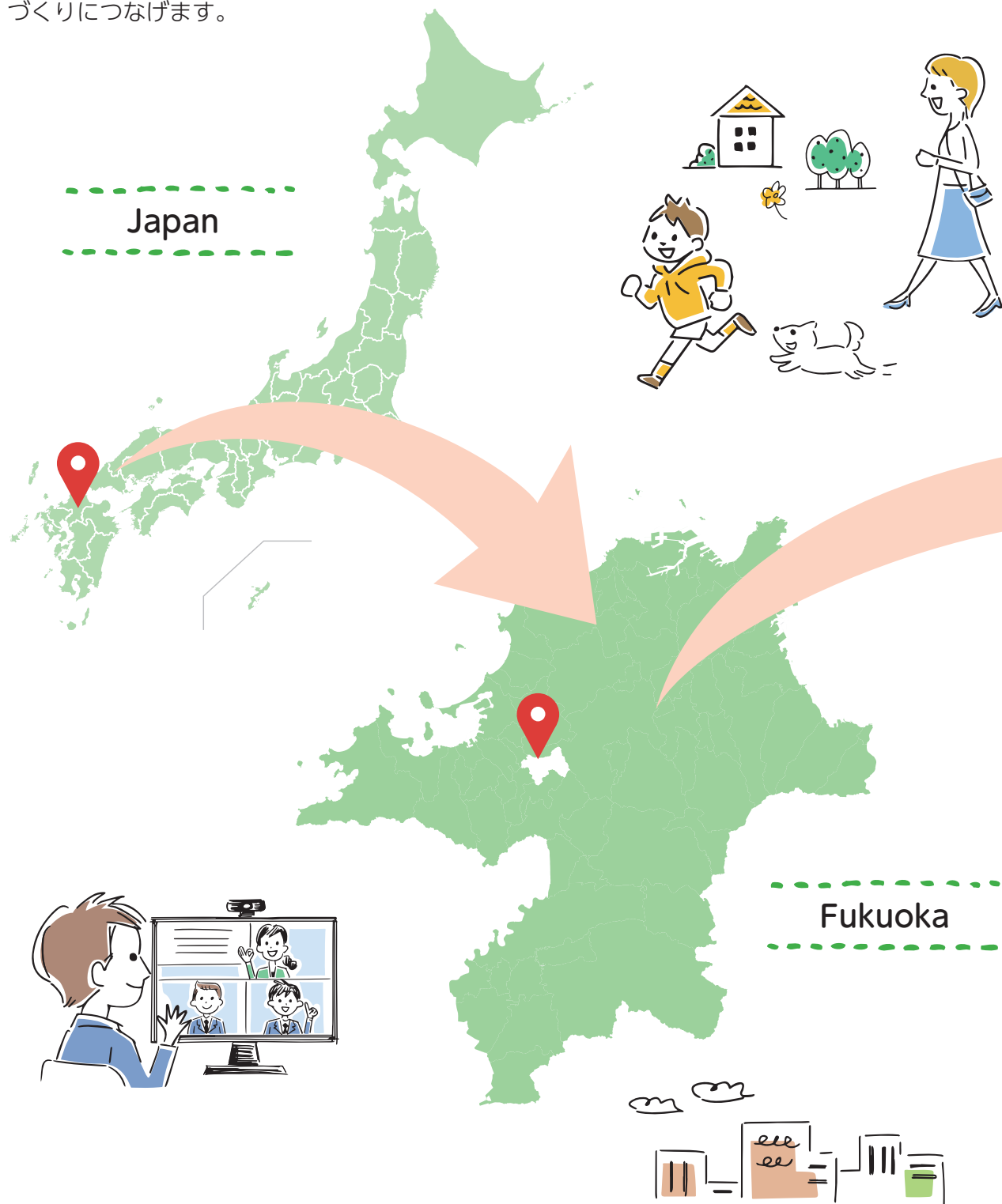
平成27（2015）年の国連サミットでSDGsが採択され、日本を含め世界各国で「貧困をなくそう」・「飢餓をゼロに」・「すべての人に健康と福祉を」をはじめとする17の共通目標の達成に向けた取組が進められています。

宇美町においても、経済、社会、環境が連動した「持続可能なまちづくり」への取組を進めています。

# 宇美町の特性

宇美町らしい良いところを町の特性としてまとめています。

第7次宇美町総合計画では、これらの町の強みを活かし、より一層、魅力と活力あるまちづくりにつなげます。



## 福岡市や空港に近い 恵まれた立地

- 福岡市中心部から約15km
- 福岡空港から車で約15分
- JR博多駅からJR宇美駅まで約30分



## 豊かな自然

- 三郡山系の緑豊かな山なみ
- ホタルの住む河川
- 森と川に親しむキャンプ地 一本松公園
- 厳冬の絶景 こうらだに 河原谷の大つらら
- 岩盤地下水「河原のしずく」



Umi

## あたたかい人のつながりと町民活動

- 自治会や地域のあたたかい人と人のつながり
- 小学校区を単位としたコミュニティ活動
- 子育て支援、読み聞かせ等、活発なボランティア活動
- 町民と行政とが共にまちづくりに取り組む共働事業



## 医療・保健・福祉

- 総合病院、医療施設が多く恵まれた医療環境
- めざせ「高血圧ゼロのまち」
- 小学生からの健康づくり うみっ子健診
- 地域で取り組む 介護予防教室

## 子育て・教育

- 乳幼児親子が集い、自由に遊んだり交流ができる子育て支援センター「ゆうゆう」
- 中学生と乳幼児が触れ合う「子育てサロン」
- 読書活動や地域交流等、豊かな価値観を育む学校教育
- 学校と地域・保護者が力を合わせて取り組むコミュニティ・スクール

## 国指定史跡や日本遺産等、貴重な歴史文化財

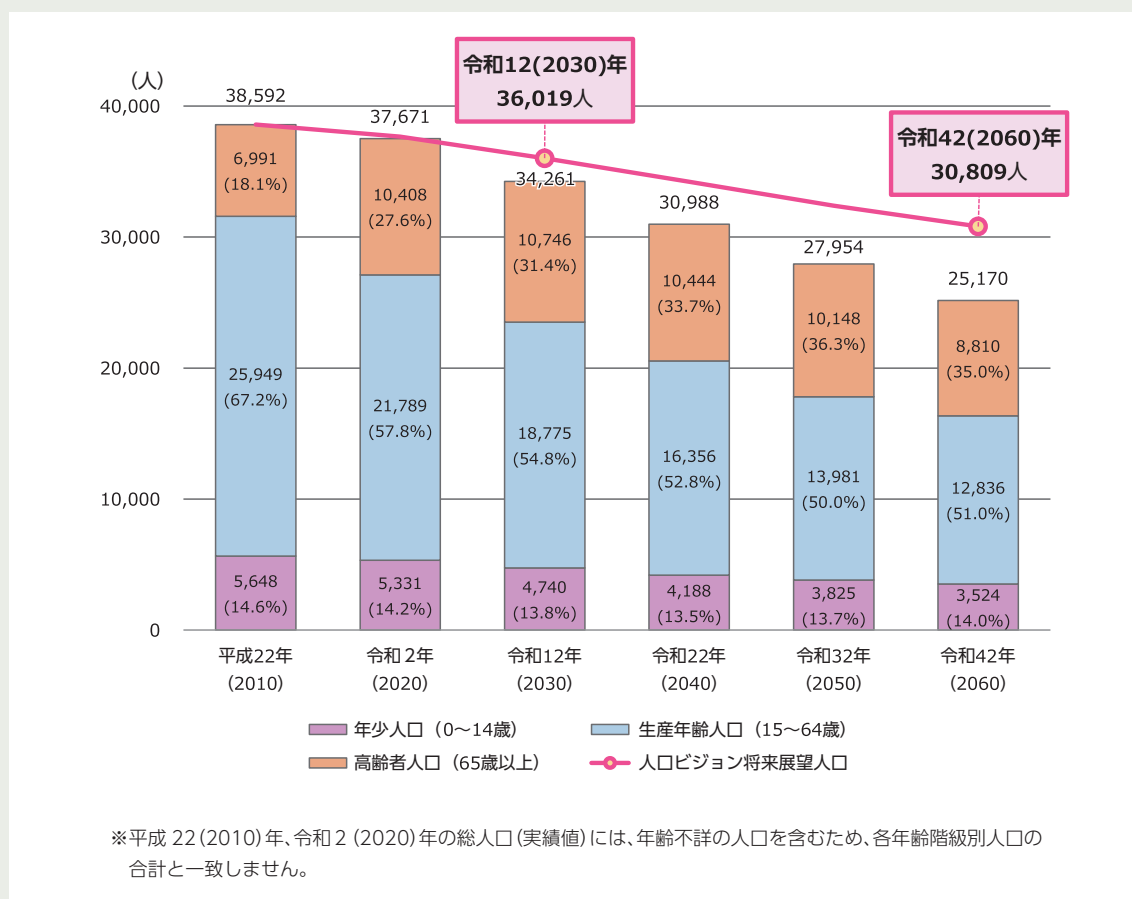
- 日本遺産 古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～
- 日本最古の古代山城 大野城跡
- 糟屋郡内最古級で最大の前方後円墳 光正寺古墳
- 安産・育児の神様 宇美八幡宮
- 樹齢2千年以上と伝わる大樟 ゆぶた 湯蓋の森・きぬかけ 衣掛の森 (宇美八幡宮)

# 宇美町の現状

## 1 まちの将来人口

宇美町においては、昭和50（1975）年代から60（1985）年代にかけて大型団地が造成され、福岡市近郊におけるベッドタウンとして人口が増加しました。その後、全国的な人口減少が始まり、宇美町においても平成17（2005）年をピークに人口が減少し、現在、糟屋郡の中で最も高齢化が進んでいます。今後は、さらに急速な高齢化と生産年齢人口の減少が予想されています。

平成27（2015）年度から取り組んでいる『宇美町総合戦略』の活力あるまちづくりをさらに進めることで、将来にわたって住んでよかったと実感できる、住み続けたいと思えるまちを実現する必要があります。

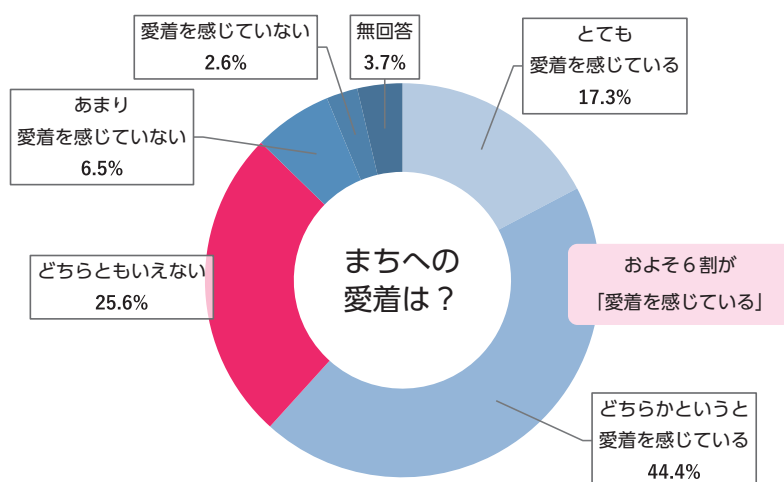


上の図は、宇美町の将来人口を予測したグラフです。棒グラフは、過去のデータを基に推計された人口を示しています。また、折れ線グラフは、宇美町が活力あるまちづくりの取組を進めることで、人口減少を抑制しようと目標としている人口です。

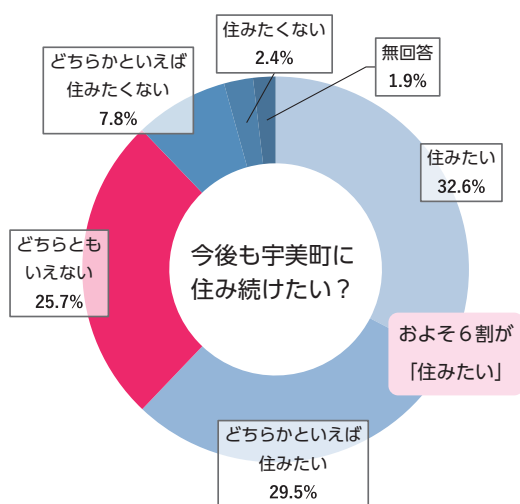


## 2 まちへの愛着・定住意向等

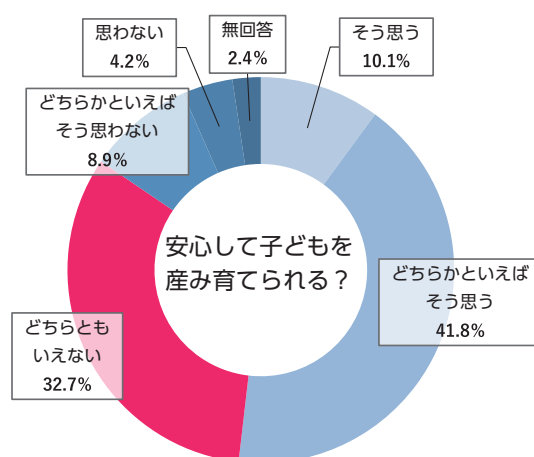
令和3（2021）年度に実施した町民意識調査の結果です。  
町民の実感を踏まえ、まちへの愛着や定住意向を高めるまちづくりを進めます。



「宇美町のよさ」を実感できるまちづくりを進め、  
「どちらともいえない」と答えた方の愛着度を上げることが大切です。



「どちらともいえない」を「住みたい」に変えるには、「このまちが、いい。」と選ばれる「まちの魅力向上」が大切です。



「どちらともいえない」を「そう思う」に変えるには、子育て世代が子育てしやすい環境を整えることが必要です。また、子育て世代だけではなく、町全体で、子育てしやすいまちづくりを進めることが必要です。

### 3 町民の想いや意見（うみまちトークカフェ）



第7次宇美町総合計画の策定にあたり、公募に応募された方、宇美商業高等学校の生徒、小学校区コミュニティ運営協議会や自治会、各種団体で活動されている方、宇美町で事業を行っている方に「うみまちトークカフェ」と題してまちづくりへの想いや意見をうかがいました。宇美町をさらに良くしたいという町民の声をこれからのまちづくりに活かします。